

愛知淑徳大学 人間情報学部 情報デザイン専修

森 博子 教授



専門分野

- ・ 交通工学
- ・ 空間デザイン
- ・ 感性工学

キーワード

- ・ 交通流解析、交通行動分析
- ・ ユニバーサルデザイン

愛知淑徳大学 人間情報学部 情報デザイン専修

森 博子 教授

TEL: 0561-62-4111

E-mail: hirokom@asu.aasa.ac.jp

■研究室の概要

本研究室は教員（森博子）が2013年4月より愛知淑徳大学に着任してからスタートし、今年度で9年目になります。着任前は（株）豊田中央研究所で20年間交通流解析や交通シミュレーションの研究に従事していたため、現在は、交通流解析・交通行動分析と、さらに対象を広げて、空間デザインやユニバーサルデザインに関して研究を進めております。学生は毎年35名前後です。

■空間デザイン、ユニバーサルデザイン

身近な場面からストレス場面を選択し、快適な空間や移動を実現するために、デザインや評価を行っております。それには、感性工学の知見や、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れております。

実車などの実空間で実験できない場面は、ドライビングシミュレータやヘッドマウントディスプレイで空間を再現し、刺激に対するヒトの行動等を評価しております。刺激として、運転環境や危険場面、照明、色、香り、音などを用いております。評価は、運転であれば速度や加減速度等の物理指標、心理調査、視線計測や心拍等の生理量を用います。

また、高齢者や車椅子利用者などに配慮した駅や公共施設のユニバーサルデザインマップを専用ソフトウェアやWebで制作することも行っております。

■交通流解析、交通行動分析

トリップデータや観測交通量データを用いて、OD交通量（Origin-Destination：各出発地から各目的地までの交通量）推定を行い、交通シミュレーションにより交通状況を再現する手法について検討しております。直近ではバンコクの渋滞対策について検討しました。

また、プローブカーデータの分析によって、渋滞長や渋滞末尾を推定する手法を検討しました。さらに、プローブカーデータを用いて、運転の方法（運転タイプ）や道路環境（道路種別、勾配、混雑度）、速度、車種の違いによる各燃費を分析し、燃費予測モデルを構築したりしております。

